DX 推進ビジョン

株式会社Massive Act

代表取締役 高萩 遼介

2022年 8月22日　策定
2022年12月12日　改定
2024年10月25日　改定
2026年10月 8日　改定

Message　DX推進ビジョンの改訂にあたって

当社は創業以来「変革の起点を創る」をミッションに、デジタルマーケティングとDX支援を通じて、顧客企業の事業成長をデザインしてまいりました。

生成AIとデータ活用技術の急速な進展により、マーケティングと経営の意思決定は大きく変わりつつあります。顧客企業の課題も、施策の実行から、データに基づく意思決定の質と再現性の向上へと高度化しています。

当社はこの変化を事業機会と捉え、DX推進ビジョンを改訂いたしました。まず当社自身が生成AIとデータを業務の中核に据え、業務品質と生産性を高めます。そこで蓄積した知見と、意思決定支援に関する独自技術の研究開発を、顧客企業への提供価値の向上につなげてまいります。

あわせて、AIとデータを適切に扱える人材の育成と、情報セキュリティ・AIガバナンスの徹底を経営の責任として推進します。DX推進の進捗は指標に基づき定期的に確認し、継続的に改善と情報発信を行ってまいります。

一歩先の未来をデザインするため、全社一丸となって挑戦を続けてまいります。

2026年10月8日　　代表取締役 高萩 遼介

Agenda

DX推進ビジョン

DX推進の取り組み-DX戦略と推進計画

DX推進の取り組み-推進計画と指標

DX推進の取り組み-DX推進強化における組織編成

DX推進の取り組み-環境整備の具体的方策

DX推進の取り組み-今後の情報発信

DX推進ビジョン

当社は大きく以下の3軸でDX推進を実現して参ります。

1

DX推進による
顧客企業へのサービス力強化

1.既存サービスの高度化
- DIRECT MARKETING
- BRAND MARKETING
- MARKETING DX
- GROWTH MARKETING（CDP / MA tool Solution、MOps Service）

2.共創型サービスの強化
- DX ADVISORY
- DX CONSULTING（PMO / BPO）
- BPR Solution

3.データ・AIを活用した意思決定支援サービスの開発・高度化
- MACT INTELLIGENCE™（中核技術：特許第7905150号）
- DDIM™（中核技術：特許第7917862号）
- 生成AI活用支援

※独自技術は研究開発と顧客適用を段階的に推進中

2

社内DX推進による
クラウド経営加速と生産効率向上

1. 社内情報管理システムによる顧客プロジェクト情報の一元管理、クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上
2. 業務管理ツール／システムによる業務生産管理と高度化・業務改善
3. 操作ログ・工数算出システムによる生産効率向上と業務均質化
4. 生成AI（LLM）の業務組込みによる、資料作成・分析・ナレッジ検索の高度化と業務品質の向上
5. RPA・自動化ツールによる定型業務の自動化

3

DX人材・スペシャリストの育成

DX技術の専門人材育成

①デジタル広告知見を保有する人材
②広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材
③MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材
④事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材
⑤データ分析・予測モデリングにより経営判断を支援できる人材
⑥生成AIを業務・サービスに適用できる人材
⑦AIガバナンス・AI倫理・情報セキュリティを踏まえ、AIを適切に運用できる人材
⑧組織全体のDX推進を支援し、最新のデジタル技術動向を事業に適用提案できる人材

DX推進の取り組み　DX戦略と推進計画

人材育成（③）と社内DX（②）で蓄積したデータ・知見・独自技術を、顧客企業への提供価値（①）へ還元する循環でDXを推進致します。

③人材育成・AI活用の定着 → ②社内業務の高度化・生産性向上 → データ・知見・独自技術の蓄積 → ①顧客企業の意思決定高度化・事業成長への貢献

	1	2	3
DXビジョンに基づく推進項目	DX推進による 顧客企業へのサービス力強化	社内DX推進による クラウド経営加速と生産効率向上	DX人材・スペシャリストの育成
推進計画	**1.既存サービスの高度化** • DIRECT MARKETING • BRAND MARKETING • MARKETING DX • GROWTH MARKETING（CDP / MA tool Solution、MOps Service） **2.共創型サービスの強化** • DX ADVISORY • DX CONSULTING（PMO / BPO） • BPR Solution **3.データ・AIを活用した意思決定支援サービスの開発・高度化** • MACT INTELLIGENCE™（中核技術：特許第7905150号） • DDIM™（中核技術：特許第7917862号） • 生成AI活用支援 ※独自技術は研究開発と顧客適用を段階的に推進中	1. 社内情報管理システムによる顧客プロジェクト情報の一元管理、クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上 2. 業務管理ツール／システムによる業務生産管理と高度化・業務改善 3. 操作ログ・工数算出システムによる生産効率向上と業務均質化 4. 生成AI（LLM）の業務組込みによる、資料作成・分析・ナレッジ検索の高度化と業務品質の向上 5. RPA・自動化ツールによる定型業務の自動化	DX技術の専門人材育成 ①デジタル広告知見を保有する人材 ②広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材 ③MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材 ④事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材 ⑤データ分析・予測モデリングにより経営判断を支援できる人材 ⑥生成AIを業務・サービスに適用できる人材 ⑦AIガバナンス・AI倫理・情報セキュリティを踏まえ、AIを適切に運用できる人材 ⑧組織全体のDX推進を支援し、最新のデジタル技術動向を事業に適用提案できる人材
DX戦略	顧客プロジェクトの広告・CRM・成果データと社内ナレッジを統合し、独自の意思決定支援技術と生成AIで施策立案・効果検証の根拠を定量化。提案・運用品質の均質化と、顧客の意思決定の質・再現性の向上に繋げます。	クラウドに集約した操作ログ・工数・プロジェクト情報を分析してボトルネックを特定し、生成AIと自動化で定型業務を圧縮。創出した時間を分析・戦略立案業務へ再配分し、働き方改革と多様な働き方を推進します。	人材育成計画に基づき、資格取得・社内勉強会・生成AIの実践機会を整備してスキルを可視化。AIとデータを安全かつ適切に扱える人材を全社で育成します。

D X 推 進

DX推進の取り組み　推進計画と指標

DX推進項目①②③の指標は出来る限り定量化し、達成状況を定期的にモニタリングするとともに、実績を当社ホームページで公表して参ります。

	1	2	3
DXビジョンに基づく推進項目	DX推進による顧客企業へのサービス力強化	社内DX推進によるクラウド経営加速と生産効率向上	DX人材・スペシャリストの育成
推進計画	1.既存サービスの高度化 • DIRECT MARKETING • BRAND MARKETING • MARKETING DX • GROWTH MARKETING（CDP / MA tool Solution、MOps Service） 2.共創型サービスの強化 • DX ADVISORY • DX CONSULTING（PMO / BPO） • BPR Solution 3.データ・AIを活用した意思決定支援サービスの開発・高度化 • MACT INTELLIGENCE™（中核技術：特許第7905150号） • DDIM™（中核技術：特許第7917862号） • 生成AI活用支援 ※独自技術は研究開発と顧客適用を段階的に推進中	1. 社内情報管理システムによる顧客プロジェクト情報の一元管理、クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上 2. 業務管理ツール／システムによる業務生産管理と高度化・業務改善 3. 操作ログ・工数算出システムによる生産効率向上と業務均質化 4. 生成AI（LLM）の業務組込みによる、資料作成・分析・ナレッジ検索の高度化と業務品質の向上 5. RPA・自動化ツールによる定型業務の自動化	DX技術の専門人材育成 ①デジタル広告知見を保有する人材 ②広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材 ③MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材 ④事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材 ⑤データ分析・予測モデリングにより経営判断を支援できる人材 ⑥生成AIを業務・サービスに適用できる人材 ⑦AIガバナンス・AI倫理・情報セキュリティを踏まえ、AIを適切に運用できる人材 ⑧組織全体のDX推進を支援し、最新のデジタル技術動向を事業に適用提案できる人材
上記計画達成時の指標	【1】既存サービスの強化 ・2028年12月までに既存プロジェクト満足度90%以上の達成 ・年間顧客継続率90%以上の維持 【2】共創型サービスの強化 ・2028年12月までに共創型サービスの売上構成比50%の達成 【3】データ・AI活用サービスの開発・高度化 ・2028年12月までに3サービスの提供開始 ・独自技術の顧客業務への適用5件	●業務効率改善（生産性向上） ・DX推進方針策定前比で年間500時間の業務時間削減 ・生成AI・自動化を組み込んだ業務プロセス5件 ・働きがい・ワークライフバランスの社内エンゲージメントスコア80%以上	●人材育成 ・情報系資格（ITパスポート・情報セキュリティマネジメント等）取得者2名以上 ・CRMツール等の認定資格取得者2名 ・生成AI利用ガイドライン研修の受講率100% ・当社規定のガイドラインを満たす人材5名

D X 推 進

DX推進の取り組み　DX推進強化における組織編成

2022年8月にDX推進委員会を新設し、実務執行総括責任者である代表取締役の下、3つのチームでDXを推進しています。委員会はKPIの進捗と施策の効果を評価・見直しし、結果を経営会議に報告します。各チームは少数精鋭の兼務体制で運営し、必要に応じて外部専門パートナーと連携します。

MASSIVE ACT

実務執行総括責任者 **代表取締役**

DX推進委員会

DX推進戦略を管掌/監査
KPIモニタリング／施策の評価・改善

INTERNAL DX

社内DX推進チームー②社内DX推進によるクラウド経営加速と生産効率向上

デジタル技術やツールを活用した社内業務のDX化

ⅰ）クラウド管理による情報集約／統合速度／社内情報格差の是正と生産性向上
ⅱ）勤務形態（オンサイト，オフサイト）による提供サービスのギャップを改善する為の各種ビジネスツール活用
ⅲ）ビジネスプロセスの自動化(DX化)による情報流通精度の向上と提供サービスの高度化
Ⅳ）e-ラーニングの提供機会の充足化によるDX人材育成の加速
ⅴ）生成AIの業務組込みと利用ルールの運用、情報セキュリティ管理

DX人材育成チームー③DX人材・スペシャリストの育成

・DX技術に関する教育・人材育成
・DX推進浸透の啓蒙活動・広報活動

a）デジタル広告知見を保有する人材
b）広告データ基盤・広告システム知見を保有する人材
c）MAツール、CDP、クラウドツールの包括的なツールプランニング知見を保有する人材
d）事業活動をデジタル化するためのDX戦略知見を保有する人材
e）データ分析・予測モデリングにより経営判断を支援できる人材
f）生成AIを業務・サービスに適用できる人材
g）AIガバナンス・AI倫理・情報セキュリティを踏まえ、AIを適切に運用できる人材
h）組織全体のDX推進を支援し、最新のデジタル技術動向を事業に適用提案できる人材

EXTERNAL DX

DX戦略チームー①DX推進による顧客企業へのサービス力強化

デジタル技術活用による顧客体験の最適化＝クライアントビジネスの成長支援を加速

ⅰ）シナリオプランニングユニット：デジタル技術／データ活用による顧客体験価値を最大化・推進
ⅱ）クリエイティブストラテジーユニット：クリエイティブによる定性的な顧客体験価値を最大化・推進
ⅲ）CXM Center：データ観点、クリエイティブ観点の両軸による顧客体験を最大化・推進・研究
ⅳ）データ・AIを活用した意思決定支援技術（MACT INTELLIGENCE™・DDIM™）の研究開発と顧客適用

外部連携

・2026年9月、OpenAI Partner NetworkにおいてSelect Partnerとして選定
・DDIM™は一般社団法人日本デジタル・アドバイザリー戦略協議会との共同開発技術
・業務委託パートナーとの連携によるプロジェクト推進体制

DX推進の取り組み　環境整備の具体的方策

DX推進の各テーマにおいて、クラウド・業務管理・自動化・生成AIの環境を整備し、一定の成果が見られています。今後は、データの一元化と生成AIの安全な業務組込みを軸に、業務品質・生産性と顧客提供価値の向上に直結する環境整備を継続して参ります。

DXビジョンに基づく推進項目	1 DX推進による顧客企業へのサービス力強化	2 社内DX推進によるクラウド経営加速と生産効率向上	3 DX人材・スペシャリストの育成
推進計画	[1]顧客管理システムで契約／営業情報を一元管理し、提案・企画データを集約してサービス品質を担保 [2]業務プロセス管理システムによりサポート提供範囲を充足し、顧客満足度の向上に貢献 [3]RPAによりExcel依存から脱却し、顧客企業へサービス数値をリアルタイムに連携 [4]広告・CRM・成果データを顧客単位で統合・分析する環境を整備し、独自技術と生成AIによる分析・施策提案に活用	[1]クラウドへの社内業務データ集約・一元管理による情報取得の迅速化と社内情報格差の是正 [2]アクセスログ・操作ログ・業務時間計測による工数の可視化と無駄工数の是正 [3]マニュアル化ツールによる属人業務の切り出しと平準化 [4]生成AI（LLM）を資料作成・調査・分析・ナレッジ検索の標準手順に組み込み、業務品質を向上 [5]自動化ツールの導入・自動化システムの開発による業務の正確性向上と工数削減	[1]人材育成計画に沿った教育環境の整備（社内ノウハウ共有ツールによるオンライン学習） [2]生成AIの実践的な活用機会と社内勉強会の整備 [3]情報セキュリティマネジメント試験の受験推奨 [4]ITパスポート試験の受験推奨 [5]CRMツール認定資格の受験推奨
DX戦略	◆全社共通 ①リモートワーク・サービスのリモート提供環境の整備 ・WEB会議ツールによる場所を選ばないコミュニケーション環境の確立 ・チャットツール活用による社内外コミュニケーションの敏捷性・情報鮮度の担保 ②社内ポータルサイトによる部門横断的な情報連携環境の確立	③情報セキュリティ・AIガバナンス：情報セキュリティポリシーに基づく情報管理、業務に応じたアクセス権限の付与、生成AI利用ルール（機密情報・個人情報の入力制限、出力内容の人による確認）の運用 ④IT投資：DX戦略に基づき、生成AI・データ活用環境・セキュリティ対策へ継続的に予算を配分	

D X 推 進

DX推進の取り組み　今後の情報発信

現在当社では、自社での自動化ツール開発と、生成AI・各種ITツールの業務への組込みにより
「超効率経営」を推進し、情報処理環境の整備に取り組んでおります。

一定の成果として、業務時間の削減、業務生産性の向上が挙げられますが、
DX推進においては目的ではなく手段として捉え、
現状の取り組みに満足する事なく、PDCAを高速で回し続けることが重要と考えております。
「Eat your own dog food」を全社共通意識として持ちながら、
自社でのDX・生成AI活用の実践知と、データ・AIを活用した意思決定支援技術を顧客企業へ提供し、
適切な意思決定のご支援と、事業成長の起点となるべく注力し続けて参ります。

今後もDX推進の状況とKPIモニタリング結果につきまして、
当社ホームページにて年1回以上公開して参ります。

*当社ホームページ：DX推進方針　https://massive-act.com/dxpolicy/
*DX推進方針における指標のモニタリングについて：https://massive-act.com/news-topics/corporate/2237/